



●大会グッズ、できました!  
愛知大会の大会グッズができました。

携帯ストラップ(青・黄)  
400円

クリアファイル(五色入り)  
500円

このほか、Tシャツや手提げバックも準備中です。

グッズの売り上げは、愛知県内の障害者・家族の参加費援助に使います。まとめて購入・普及していただける方は、愛知大会準備委員会までお問い合わせください。

●準備委員会の連絡先のお知らせ

愛知大会準備委員会専用の携帯電話を準備しました。連絡先をお知らせします。

全障研愛知大会準備委員会  
〒456・0031  
愛知県名古屋市中熱田区神宮

2-3-4 もやいビル3F  
全障研愛知支部内  
(TEL) 080-3683-8822

(FAX) 052-682-7913  
<http://zensyouden2010.blog66.fc2.com>

## アラウンド GOGO 55

全障研新聞のアラウンド55に原稿を書けといわれて、すこしめげた。昔、「みんなのねがい」に「青年教師 朱鷺説の行方」を書いたときには、まだ若いと自覚していたのだが、これまた、もう「いい歳」ということを認定されたということらしい。

愛読書のデズモンド・モリスの「年齢の本」で確認してみる。53歳は「男の更年期」とあった。54歳は、「以前には考えもしなかった老いが、地平線上の小さな点として、はつきり見えるようになる」と書いてあった。さらに、55歳は、「老齢の始まり」(ヒポク

ボケからつつこみへ  
—お国言葉で実践記録を!

玉村公二彦

ラテス)との引用から始まる。確かに、53歳で、のぼせがあり、冷や汗が…。54歳になったとき、いろいろボケがきつくなったような気がする。

\*

研究でもボケてきたのか、逆につつこみの研究をしたいと思いはじめている。関西に来てずいぶんになるが、真実の



文化やコミュニケーションがないがしろにされているのではないかと問題意識からだ。関西文化の中での子ども達の発達やコミュニケーションを拾ってみたい。たとえば、「子ども集団における、ぼけとつつこみはどんな時におこるか?」「のり・つつこみは、何年生でできるようになるのか?」など…。

いまんとこ、「なんでやねん!」「誰がやねん?」「どこがやねん?」「ほんまかいな?」といった、キーワードに着目している。「なんでやねん」は、3歳半ごろから使いだしました。場面や用法が曖昧だ

ったのが、最近、父親のぼけに対して、「なんでやねん!」とつつこんでくれます」という証言も得ているんや。

保育や教育実践の記録を読むんやけど、ボケとつつこみといったったたいな場面が描かれているものはないんやないか。そもそも関西弁での実践記録を書くちゅうのはどうしたらいいんやろか? こんなこと考えながら、関西弁で話を書いたら、「みんなのねがい」にや、ひんしゆくでのらんやろな。お国言葉で実践記録の特集をやったら、おもしろいんちゃうの!

(全障研奈良支部長・奈良教育大学)

※「アラウンド55」は、50代の会員が、近況やいまの思いを自由に綴るエッセイのコーナーです。